

守りたい、故郷の自然と緑

3
み
4
よ
4
し
SATOYAMA

大きな恵み 里山に守られ 里山を守りたい

f いいね三芳町 🔍

SATOYAMA。ヤマは「大きな恵み」、サトは「ふるさと」。三芳町で生まれ育った子どもたちが大きくなった時この町で過ごしたことを誇りに思えるように私たちができることを考えてみませんか。



三芳町の自然と緑を未来へ 緑化推進寄附にご協力を

三芳町の素敵な自然と緑を未来へ守り続けていくため、三芳町では緑化推進寄附金を募集しています。いただいた寄附金は緑地公園をはじめとした町内の緑保に活用されます。WEBから簡単に申し込みが可能です。三芳町の自然と緑を未来へ、そして子どもたちのために、皆様のご協力をお待ちしています。

☎ 049-258-0019 (内線 218) 担当：環境課

三芳町 緑化寄附金



(写真) 緑地公園で行われたしゃぼん玉遊びに参加した皆さん。子どもたちが大人になった時、三芳町のふるさとを誇りに思えるように、できることを考えてみませんか。



何

もなかった武蔵野の台地に緑を作った先人たち。そして今、先人に感謝し受け継がれてきた農法を守り、農業を受け継ぐ若い人たちが頑張っています。さらに、農家ではない人たちも自発的にみよしグリーンサポーター隊を始めとしたボランティアとして、三芳町の自然と緑を守るために尽力しています。

三芳町への愛情

こうした多くの人たちの努力と三芳町への愛情によって、三芳町で暮らす私たちは自然と緑が豊かな町のなかで過ごすことができます。未来を創る子どもたちにとって、自然と緑が豊かな環境の三芳町で生まれ育つことは、都会で暮らす子どもたちにとって、憧れの環境なのかもしれません。

小さなころから本物にふれあう経験

当たり前のように小さなころから自然と緑を体験することができる「トカイナカ」三芳町。都会では開墾が進み、緑が失われています。そのため夏の風物

詩とも言える蝉の鳴き声も聞こえなくなったり、虫取り網を持って外で遊ぶ子どもの姿あまり見られなくなってきました。三芳町の子どもたちは小さな頃から自然にふれ、昆虫を「購入」するのではなく自らの手で「採取」できます。また、親子で自然とふれあい、遊ぶ事は家族のコミュニケーションを深めることになり、子どもたちにとって、かけがえのない時間となります。

身近に隠れた宝石

身近にある自然と緑。実は宝石のように輝きを放ち、大切にかけがえのないものです。宝石のような自然と緑を守つていき、未来に届けていく気持ちがふるさとを大切にすることに繋がります。

SATOYAMA

YAMAは「大きな恵み」、SATOはかけがえのない「ふるさと」。SATOYAMAを大切に思う気持ち。里山を守られてきた私。未来へと里山を守り続けていくためにできることを、考えてみませんか。